

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A190	23-058	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Association between alcohol consumption and risk of hyperuricaemia among adults: a large cross-sectional study in Chongqing, China 成人におけるアルコール摂取と高尿酸血症リスクの関連性：中国重慶市での大規模横断研究		
<b>執筆者</b>		
Chen S, Ding R, Tang X, Chen L, Luo Q, Xiao M, Ding X, Peng B.		
<b>掲載誌</b>		
BMJ Open. 2023 Dec 13;13(12):e074697. doi: 10.1136/bmjopen-2023-074697.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール、高尿酸血症、大規模横断研究		38097239
<b>要旨</b>		
<p><b>目的：</b>アルコール摂取と高尿酸血症との関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b>重慶地域における中国多民族コホートに参加した 30-79 歳の 20833 人を対象とした。アルコール摂取状況は標準化された質問紙により調査し、飲酒頻度と飲酒量を評価した。ロジスティック回帰モデルを用い、飲酒頻度あるいは飲酒量による高尿酸血症リスクとの関連を検討した。なお、高尿酸血症は血清尿酸値<math>\geq 7.0\text{mg/dL}</math> (女性<math>\geq 6.0\text{mg/dL}</math>)と定義した。</p> <p><b>結果：</b>飲酒頻度での検討では、非飲酒者に比べ、3-5 日/週の飲酒者で高尿酸血症リスクが最も高かった。飲酒量での検討では、非飲酒者に比べ、有害飲酒者 (61g/日以上)で 高尿酸血症リスクが最も高かった。男性では、非飲酒者に比べ、適正および有害飲酒者で高尿酸血症リスクが高かった。一方、現在飲酒者のみでの検討では、適正飲酒者に比べ、有害飲酒者で高尿酸血症リスクが高く、飲酒量が増えるほどリスクが高かった。これらの傾向は男性で強かった。</p> <p><b>結論：</b>本研究結果より、特に男性において、飲酒の頻度および量が高尿酸血症のリスク要因である可能性が示唆された。</p>		